

人々の食品と情報へのアクセスを整備する 戦略的な仕組みづくり

栄養バランスの良い食事を摂り続けることは、個人の努力だけでは難しいのが現状です。健康関心度等の程度にかかわらず、誰もが自然に健康になれるような食環境づくりをめざし、事業者による**栄養面・環境面に配慮した**食品の開発・販促・広報活動等を、産学官等が連携して推進するための方策等を検討します。

事業者による栄養面・環境面に配慮した食品(商品)の開発、販促、広報活動のイメージ例



食品製造者

①開発

減塩・塩分控えめ
加工食品・調味料、
タンパク質が十分にと
れる弁当・惣菜等



食品流通

②販促

商品パッケージ・店
頭ポップ等による
訴求、従来品と同
等価格設定等



メディア等

③広報

食品メーカー、流通
事業者、メディアの
コラボによるキャン
ペーン等



消費者



健康的な食品に手が
伸び、**意識しなくても
健康に**

兵庫県の健康課題である フレイル予防・減塩に着目

※兵庫県と学識関係者が連携して事業者様を支援します